

## 若狭湾海の自然学校～矢代湾で生きる～ 同窓会

### 1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
—	—	17名	9名（新潟県1名・福井県4名・京都府2名・奈良県2名）

### 2. 事業内容（概要）

#### ◆ねらい

平成29年度教育事業の一つ「若狭湾 海の自然学校～矢代湾で生きる～」の参加者が再び一堂に会し、ともに活動をするを通して当時の学びを再確認するとともに、さらなる交流を深める。

#### ◆期日・期間

平成30年2月10日（土）～2月11日（日） 1泊2日

#### ◆連携機関

なし

#### ◆参加者分析

海の自然学校参加者は17名で、今回の同窓会にはそのうちの9名が参加した。参加者は自然学校の開催を楽しみにしている様子が、参加確認書などの書面からも伺うことができた。自然学校の事前説明会の際に、同窓会では自宅から一人で来られるとよいことを伝えていたところ、地元地域の参加者の中には自宅から自転車をこいで来る子がいたり、遠方地域からの参加者については公共交通機関を乗り継いで最寄り駅まで来る子がいたりした。

今回、学校行事やクラブ活動と日程が重なるなどして8名が欠席となったのは残念であった。

#### ◆企画のポイント（日程・特色など）

	13		14		15		16		17		18		19		20		21		22		
二月十日（土）			受付	はじまりのつどい	活 動 ① アイス ブレイク  近況など交流		テント 設営		野外炊事・ 夕食				活 動 ② キャンドル サービス  自然学校 思い出スライド 等				入浴	就寝 準備		就寝	
	6		7		8		9		10		11		12		13						
二月十一日（日）		荷物整理 起床・洗面		はじまりのつどい		野外炊事・朝食		片付け・清掃		活 動 ③ 思い出クラフト （若狭めのう）		昼食（食堂）		おわりのつどい		解散					

自然学校の参加者が再び活動をともし、夏の自然学校で学んだことを活かした活動をと  
いう趣旨から、今年度の同窓会は自然学校参加者のみでの開催にした。

◆運営のポイント

- 自然学校当時をじっくりとふり返ることができるように思い出ムービーを作成し、上映する機会を設定した。
- 活動①で再会の緊張をほぐしたり近況を報告し合ったりし、活動②でじっくり自然学校での思い出を交流できるようにした。
- テント泊や野外炊事を行い、当時を思い出したり培った力を発揮したりする場とした。ただ、当日の気象条件としては屋外で活動するには厳しい状況にあり、テント泊については寒さ対策と体調面を考慮して屋内で行うことにした。
- クラフト活動をプログラムに入れ、自然学校や若狭湾について思い出に残るものを作成し持ち帰ることができるようにした。

### 3. アンケート結果

(1) アンケート

<参加者>

項目	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	100%	0%	0%	0%
この事業のプログラムはどうでしたか	78%	22%	0%	0%
事業全体の運営はどうでしたか	67%	33%	0%	0%

4 満足 3 やや満足 2 やや不満 1 不満

(2) 参加者の声

- みんなで協力していろいろできたし、楽しかった。
- 久しぶりに会えてうれしかった。
- 自然学校の仲間と楽しくすごせた。
- 去年のキャンプのことをみんなでふり返れてよかった。
- さらに友情が深まったり、昔のことを思い出したりして楽しかった。
- スライドショーでいろいろ思い出すことができた。
- ※アンケートからは、久しぶりの再会を嬉しく思ったり協力してテント設営や野外炊事を行ったりしたこと、スライドショーの上映を楽しんだ様子がうかがい知ることができた。特に、課題となる声はあがってはいなかった。

### 4. 成果と課題

(1) 成果

- 子どもたちは再会を喜び、すぐに打ち解けた様子が見られた。自然学校から半年が経過しているが、苦楽を共にした仲間とのつながりの深さを感じる。
- テント設営や野外炊事ではボランティアスタッフの支援もあったが、段取り良く進める姿が見られた。寒い中での野外炊事になったが、薪割りや火おこしなど外での活動を楽しむ様子も見られた。冬の自然の厳しさも感じ取ることができたのではないかな。特に、5年生の参加者の積極的な活動へのかかわりが印象深かった。
- 今回の同窓会は自然学校参加者のみでの開催で、職員が子どもたちと直接かかわる時間が多く持てたことは、子どもたちの成長を見取る上でも大変良かった。

(2) 課題

- 自然学校参加者の内同窓会への参加はおおよそ半分になった。学校行事やクラブとの重なりが主な欠席の理由である。2月の3連休ということもあったのであろうが、開催時期の検討は必要かもしれない。例えば、1月初めの土日など。
- 自然学校参加者のみでの同窓会開催は今年度からの実施であるが、今後もねらいを達成するための活動プログラムを工夫したい。
- 語る会の進行については、ボランティアリーダーに活躍してもらったり、自然学校を少し

想起できる内容で仕掛けを作ったりするなどの工夫ができるとよい。子どもたちへのメッセージをお願いするなど、お世話になった大瀬さんとのつながりもあるとよい。

## 5. 活動の様子

### 【1日目】

#### ◇はじまりのつどい・アイスブレイク



#### ◇活動①（久しぶりに再会した仲間へ近況報告）



#### ◇テント設営・野外炊事（肉じゃが、豚汁、ご飯）





◇テントでのひと時・活動②（キャンドルを囲んでスライド上映会）



【2日目】

◇朝のつどい・思い出クラフト（若狭めのう）

